

平成25年度環境カウンセラー研修 総括

1. 計画

平成25年度の環境カウンセラー研修は、持続可能な開発のための教育（ESD）を柱に構成した。

我が国は2002年（平成14年）国連総会において「ESDの10年」を提案し採択され、「国連持続可能な開発のための教育の10年（UNDESD）」が2005年にスタートした。2014年はその最終年に当たり、11月に日本においてESDに関するユネスコ世界会議が開催される。

これを機に本年度の研修においては、ESDの基本的な知識やESDの視点を環境カウンセラーの活動の中で生かす意義は大きいことから、研修の基調テーマとした。

具体的なプログラムの構成として次のように計画した。

午前の全参加者対象の基調講演は、「環境カウンセラーに求められるESDの概念」と題し、近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科教授（環境カウンセラー市民部門登録）依田浩敏様に講演をお願いした。

午後の分科会は、4分科会に分かれて行うこととし、講演（分科会ごとに関連した情報提供）とディスカッションとで構成した。

【各分科会のテーマと基調講演講師】

第1分科会 環境教育

テーマ：「あなたにとってのESDとは！？環境教育法人くすのき自然館の取り組み」

講師：NPO法人くすのき自然館 代表理事 浜本奈鼓 様

第2分科会 生物多様性

テーマ：「環境教育を通じた生物多様性の実現【環境カウンセラー継続研鑽】」

講師：（一財）九州環境管理協会 環境部陸生生物調査課課長 藤井暁彦 様

第3分科会 再生可能エネルギー

テーマ：「再生可能エネルギー事業のあり方・ESDの視点から」

講師：国立大学法人九州工業大学名誉教授 西 道弘 様

第4分科会 資源循環

テーマ：「持続可能な循環のまちをめざして」

講師：福岡県三潴郡大木町環境課 塚 公雄 様

分科会の運営は事前にファシリテーター、記録者を定めた。内容としては、午前の全体基調講演を受けて、分科会のテーマごとにESDの具体的理解を深めてもらうよう留意した。なお、分科会は市民部門と事業者部門を分けずに実施した。

2. 基調講演

基調講演においては、E S Dの概念やその価値観、育みたい能力、学びの方法等を環境教育や活動と関連づけて分かり易く講演していただいた。

多くの受講者にとって自らの活動をE S Dという観点から見た場合の位置付けが理解でき、今後の活動を進める上でE S Dの考え方を取り入れる等具体的な活動に生かしていただけるものと期待される。

アンケート結果から、今までのE S Dへのかかわりの程度に関係なく、ほとんどの受講者にとって大変有益な講演であったことが把握できた。

3. 分科会

午前の基調講演を受けて、午後の各分科会は4分科会に分かれ、それぞれのテーマごとにE S Dの考え方を意識した講演をしていただいた。その後、講師とファシリテーターが中心になりグループディスカッションを行った。

参加者から感動の声をいただくなど、分科会講師の講演はいずれも大変素晴らしい内容であった。

参加者の中には、他の分科会にも参加したいと思った受講者も多かったのではないかとと思われることから、準備した4分科会の資料は参加者全員に配布した。

どの程度E S Dと環境カウンセラー活動の関連についてディスカッションができたかはグループにより差があったようであるが、アンケート結果からは、各グループとも具体的な事例を通してそれぞれの関連を研修でき、理解を深めていただくことが出来たと思料される。

本研修を通し環境カウンセラーの活動とE S Dの活動は非常に近い関係にあり、E S Dの概念やその価値観、育みたい能力、学びの方法等を意識し活用して日頃の活動を行うことにより、活動の質を高めることができるとともに、E S Dそのものの活動が実施できると考えた受講者も多かったのではないかと。

以上、今年度の環境カウンセラー研修は大変意義のある研修であったと言える。

4. その他・感想等

今回の研修への参加者が56人であり、例年の参加者数と比較して少なかった。また、市民部門の参加者が全体の20%と少なく、基調テーマがE S Dであっただけに意外であった。

アンケートによると、参加目的については、「カウンセリングのスキルアップ」、「最新情報を入手するため」としている回答がそれぞれおよそ同数で、これらで全体の70%になる。「環境カウンセラー相互の情報交換を行うため」、「登録要件を満たすため」の回答は同数でそれぞれ13%である。相互交流の場としては、時間的な制約もあろうが十分

生かされてはいない。

次回研修への参加についてのアンケート結果は、「是非参加したい」、「できれば参加したい」が53人、96%となっており、今回の研修が好評であったことが分かる。

また、会場がJR熊本駅に近かったことも良かった点のひとつと言える。

運営に関しても総じて好評であったが、分科会の運営で一部不備があったことはお詫び申し上げます。

5. おわりに

今回の研修が、今後の環境カウンセラーの実際の活動の場で生かされ、活動の質の向上や成果に結びつくことを期待したい。

最後に、お忙しいなかご協力いただいた講師の先生方には質の高い充実した資料を作成し、ご講演いただき、さらに分科会のディスカッションにも加わっていただき、本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

また、分科会運営に尽力していただいたファシリテーターの皆様、まとめにくいグループディスカッションの記録作成を行っていただいた記録担当の皆様、そして司会役や運営面で役割分担しご協力いただいた環境カウンセラーの皆様に厚く御礼申し上げます。

このような研修実施運営の機会をいただきましたことに感謝し、心より御礼申し上げます。

以上